

学校教育目標	「自立・共生・学び合い」 ○自分のよさを知り、なりたい自分を見つけられる人を育てます。(知) ○相手のよさを認め、励まし合い、地域と共に生きる人を育てます。(徳・公) ○命の大切さを知り、持続可能な社会を共に創る心と体を育てます。(体・公) ○思いやりのある、親切な行いを実践し、社会に貢献できる人を育てます。(開)				
	学校概要	創立 50 周年	学校長 竹内 勝広	副校長 澤野 孝行	2 学期制
児童生徒数:		156 人	主な関係校: 新井小、上菅田笹の丘小、新井小桜坂分校、新井中桜坂分校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新井中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協力して学び続ける態度 思いや考えを伝えあう言葉の力 他者のため、社会のために行動する力 命を大切に、心身の健康を管理する力	新井中学校 新井小学校 新井中学校桜坂分校 新井小学校桜坂分校	自ら学ぶ子ども。仲間や地域とともに協働的に学ぶ子ども。 ・小中合同授業研究会等を通じ、小中の学びの実態や各教科等の課題を共有。 ・個別の支援計画の引き継ぎをはじめ、丁寧な情報交換を元に、特別支援教育を推進。 ・地域学校協働本部と連携した「小中合同キャリア教育体験学習」等の取組の推進。 ・学校運営協議会を母体とした、地域に開かれた学校運営の協働。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標を実現するために、全教職員が学校運営に主体的に参加し、一丸となって、教育活動を行います。 ○学力向上を図るために、基礎基本の習得を重視し、協働して学ぶ生徒の育成をめざします。 ○体力の向上と、心身ともに健康な人を育成するために、持続可能で調和の取れた教育活動を行います。 ○持続可能な社会づくりのために、地域と協働する学校づくりをめざします。 ○横浜で一番アットホームな学校をめざします。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ①教職員同士でのお互いの授業見学や意見交換、教科研究会の参加等で、生徒が主体的に学習に取り組む態度の育成、ICT機器の効果的な活用を進めていく。 ②学校評価アンケートの生徒による授業評価、学習状況調査の結果をもとにしながら授業改善を行う。 ③基礎・基本を定着させるためにAタイムやAドリルを効果的に活用し、家庭学習の取組も促していく。
徳	人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ①人権講演会を実施し、教職員、生徒の人権意識を高める。 ②子ども会議のテーマをもとに人権(いじめ)について、小中ブロック、区で意見交換を行い、生徒の人権意識を高めると共に、いじめの未然防止の取組につなげる。 ③人権をテーマとした道徳の授業の推進及び、国際平和スピーチや人権作文の発表の場を設けて、生徒の人権意識を高める。
体	健康教育	<ul style="list-style-type: none"> ①体力の向上を図るために、保健体育の授業や体育祭での取組で生徒一人ひとりの意欲を引き出す。 ②新体力テスト、アンケート調査の結果をもとにしながら、よりよい運動習慣や生活習慣が身につくように支援する。 ③学校給食全員喫食に合わせ、食育の推進とエレベーター設置後を見据えて、校内体制を整える。
公開	ESDの推進	生徒会活動を中心として、地域学校協働本部(ASCC)と協働しSDGsの実践を行う。環境保健委員会、図書委員会、地域グリーンサポーターと共に、活動を進めていく。
	いじめへの対応 児童生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ①学校いじめ防止基本方針に基づき、組織的な対応を行う。また、生徒や地域の声を学校いじめ防止基本方針に活かしていく。 ②日常の生徒への寄り添った指導を基本とし、教育相談アンケート、安心して生活するためのアンケート、YPアセスメントを活用し、いじめの早期発見・早期解決を図る。
	人材育成・ 組織運営(働き方)	<ul style="list-style-type: none"> ①OJTを意識し、校務分掌に基づいて業務を遂行することで、教職員が全体として連動できる体制を整える。 ②部活動においては、横浜市立学校部活動ガイドラインに基づいた運営を行う。
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ①地域学校協働本部(ASCC)と協働し、キャリア教育を含め、教育活動を展開していく。 ②学校運営協議会を中心に、小・中・分校の理解を進めると共に、学家地連やチャレスポを通して、地域と協働した学校づくりを進めていく。
	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ①特別支援コーディネーターを中心に、一人ひとりの発達や課題について、個別の指導計画、個別の教育支援計画を活用しながら、共通理解を図り、適切な指導・支援ができる体制を整える。 ②校内ハートフル設置3年目となり、サポートルームタイムの有効活用、Aドリルの活用も含め、より充実した支援体制を構築する。
	創立50周年行事	『令和9年度 新井中創立50周年行事』に向けて具体的な準備を進めていく。
	担当	A50準備委員会
	担当	